

注文カード

帖合・貴店名

注文数

冊

不二出版

藤澤健一 編

移行する沖縄の教員世界

戦時体制から米軍占領下へ

定価 本体4,000円+税

ISBN 978-4-8350-8019-2 C3037

お名前

お電話

注文 年 月 日

# 移行する沖縄の教員世界

## ——戦時体制から米軍占領下へ

編著 = 藤澤 健一  
著者 = 近藤 健一郎、櫻澤 誠、  
高橋 順子、田中 萌葵、  
戸邊 秀明

### 教員世界から見る 沖縄の戦前・戦後

沖縄に「戦後」はあるのか？

「平和国家」日本と同時代の沖縄。

関係史料調査の成果を踏まえ、教員世界の変容から  
「戦前」と「戦後」の連続と断絶を縦横に描き出す、  
沖縄教育史研究の最前線。



※弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。

A5判・348頁・並製本  
2016年10月刊行  
定価 本体4,000円+税  
ISBN978-4-8350-8019-2 C3037

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12 Tel. 03(3812)4433 FAX. 03(3812)4464  
http://www.fujishuppan.co.jp E-mail. administrator@fujishuppan.co.jp

## 目次〈抄録〉

はじめに——なぜ、移行期なのか

### I 構想

一 沖繩教員史を構築する——課題と方法

二 到達点——研究史

三 史料群

### II 数量

一 分析の前提

二 沖繩戦から戦後期へ——前期移行期

三 一九五〇年代——後期移行期

四 教員構成の数量的特徴

### III 組織

一 戦時体制下の沖繩県教育会と沖繩県庁

二 沖繩群島における教員団体——地区教育会と沖繩教育連合会

三 宮古群島における教員団体——宮古郡部会から宮古教職員会へ

四 八重山群島における教員団体——八重山郡部会から八重山教職員会へ

五 沖繩教職員会

六 組織における変容過程

### 補論

移行期を生きた個性たち

一 新里清篤（一九〇九—一九九五年）——教員団体の要として

二 砂川フユ（一九〇二—一九八六年）——沖繩初の女性校長

三 桃原用永（一九〇四—二〇〇二年）——八重山の民主化をめざして

沖繩の教員世界における連続と断絶——まとめと展望

おわりに

文献一覧

沖繩教員史関係年表（一九四一—一九五九年）

図表一覧／事項索引／人名索引

- 1 「戦前期」と「戦後期」
- 2 「沖繩」と「琉球」
- 3 「軍政府」と「民政府」
- 4 「教員」と「学校」
- 5 時代背景

## 関連図書 【編集復刻版】全7巻・別冊1

### 占領下の奄美・琉球における教員団体関係史料集成

本復刻は、沖繩戦の終結以後、米軍による奄美および琉球諸島の占領初期に各群島において刊行された教員団体による機関誌を可能な限り集成し編集刊行するものである。

編集委員＝（代表）藤澤健一・近藤健一郎・櫻澤 誠・高橋順子・戸邊秀明・  
（編集協力）田中萌葵

推 薦＝弓削政己・仲宗根將二・大田静男・川井 勇

体 裁＝A4判・上製・総2,444頁

揃 定 価＝本体196,000円＋税

別 冊＝解説・総目次・索引

（分売価格 本体2,000円＋税 ISBN978-4-8350-7845-8）

## 内容見本

### はじめに——なぜ、移行期なのか

本書は、沖繩をめぐるひとつの歴史記述のころみである。その対象時期は一九四〇年代の戦時体制から沖繩戦を経て、一九五〇年代の米軍占領期にかけてである。ほぼ二〇年におよぶ同時期の教員世界について本書はひとつづきの移行期としてあらたに捉え直す。

この主題のもつ意義について、やや長い歴史的な射程から説明する。琉球王国の解体と沖繩県設置（一八七九年）からはじまった沖繩の近代において、学校は外来の機関として移植された性質が顕著であった。戦前期において沖繩県令・県知事が一貫して大和人であったことはよく知られる。教育関係では中等学校や師範学校の教員は大和人が圧倒的に優勢であった。小学校においては、置県から一九〇〇年代以前の段階では教員の中心は大和人であり、当該時期において教員はあきらかに異質の存在であったといえる。おおむね同年代以後、教育規模の拡充にともない、すくなくとも小学校における教員層は沖繩人によって構成される傾向を強めた。沖繩師範学校がその供給源として機能することで、置県当初には余儀なくされた、大和からの教員の輸入に依存したのではなく、沖繩内部からの教員養成・配置が着実に組織化されていた。その結果、置県から六〇年以上の期間を経た沖繩戦時下において教員層は、沖繩人が大勢を占めるまでに大きく変容していた。いま、その実例を三代にわたる家族のつながりとして、時間の進行とは逆に沖繩戦から置県まで遡及することで具体的に描き出してみよう。